資　料　3
令和2年3月17日
都市環境部都市計画課

候補ルート（大崎・大井・荏原）と 事業採算性 の評価

令和元年度 第３回 品川区地域交通検討会資料

2－2　候補ルートの設定

i）候補ルート①（大崎ルート）

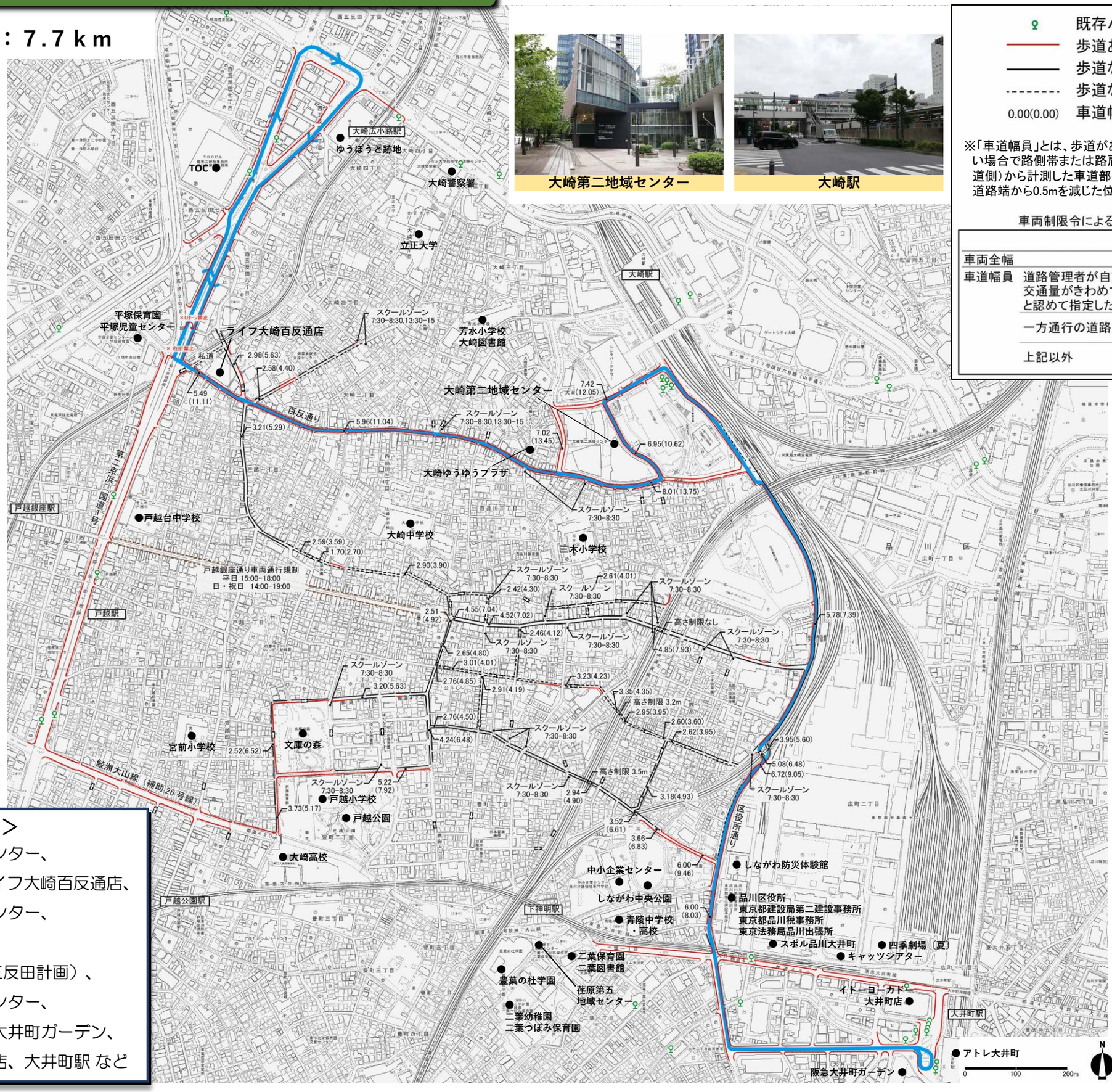
往復型　　路線延長：7.7ｋｍ

大崎広小路駅

ＴＯＣ

ゆうぽうと跡地
(仮称) 五反田計画（ｲﾒｰｼﾞ ﾊﾟｰｽ）
（出典）日本郵政不動産株式会社ホームページ

百反通り



大崎第二地域センター

大崎駅

線路沿い（元ＧＳ付近）

ＪＲガード下

区役所前

大井町駅

※ 小型バスの通行が可能なルート

- 既存バス停
- 歩道あり
- 歩道なし・白線あり
- 歩道なし・白線なし
- 0.00(0.00)　車道幅員（道路幅員）、単位 m

※「車道幅員」とは、歩道がある場合は歩道縁石端から、歩道がない場合で路側帯または路肩の白線がある場合は白線の内側（車道側）から計測した車道部の幅員。歩道がなく白線もない場合は道路端から0.5mを減じた位置から計測する。

車両制限令による運行ルートに必要な車道幅員

		小型バス	中型バス	大型バス
車両全幅		2.08m	2.30m	2.49m
車道幅員	道路管理者が自動車の交通量がきわめて少ないと認めて指定した道路	2.58m以上	2.80m以上	2.99m以上
	一方通行の道路	2.58m以上	2.80m以上	2.99m以上
	上記以外	4.66m以上	5.10m以上	5.48m以上

＜ルート近傍の主な施設＞

大崎駅、大崎第二地域センター、
大崎ゆうゆうプラザ、ライフ大崎百反通店、
平塚保育園、平塚児童センター、
ＴＯＣ、大崎広小路駅、
ゆうぽうと跡地（(仮称)五反田計画）、
品川区役所、中小企業センター、
しながわ中央公園、阪急大井町ガーデン、
イトーヨーカドー大井町店、大井町駅 など

ⅱ）候補ルート②（大井ルート）

往復型　　路線延長：5.5ｋｍ

西大井駅

滝王子通り

※ 小型バスの通行が可能なルート

- 既存バス停
- 歩道あり
- 歩道なし・白線あり
- 歩道なし・白線なし
- 0.00(0.00)　車道幅員（道路幅員）、単位 m

※「車道幅員」とは、歩道がある場合は歩道縁石端から、歩道がない場合で路側帯または路肩の白線がある場合は白線の内側（車道側）から計測した車道部の幅員。歩道がなく白線もない場合は道路端から0.5mを減じた位置から計測する。

車両制限令による運行ルートに必要な車道幅員

		小型バス	中型バス	大型バス
車両全幅		2.08m	2.30m	2.49m
車道幅員	道路管理者が自動車の交通量がきわめて少ないと認めて指定した道路	2.58m以上	2.80m以上	2.99m以上
	一方通行の道路	2.58m以上	2.80m以上	2.99m以上
	上記以外	4.66m以上	5.10m以上	5.48m以上

池上通り

品川歴史館

大井水神公園

大森駅

＜ルート近傍の主な施設＞

西大井駅、西大井広場公園、西大井創業支援センター、西大井保育園、
西大井いきいきセンター、ウェルカムセンター原・交流施設、
西大井在宅介護支援センター、西大井在宅サービスセンター、
西大井ほっと・サロン、伊藤学園、大井警察署、大井図書館、滝王子児童センター、
大井第一小学校、品川歴史館、水神児童センター、南大井在宅サービスセンター、
水神保育園、大井水神公園、大森貝塚遺跡庭園、南大井保育園、
南大井図書館、南大井児童センター、南大井シルバーセンター、大森駅　など

iii）候補ルート③（荏原ルート）

循環型　　路線延長：４.３ｋｍ

＜ルート近傍の主な施設＞

武蔵小山駅、武蔵小山商店街パルム、
武蔵小山創業支援センター、
荏原第一地域センター、荏原保育園
スクエア荏原、荏原平塚学園、
荏原西第二保育園、平塚幼稚園、荏原税務署、
荏原西保育園、中延保育園、
中延児童センター、荏原郵便局、荏原警察署、
昭和大学病院附属東病院、旗の台駅、
清水台小学校、昭和大学病院、
第二延山小学校、荏原第二地域センター、
清水台保育園、西小山駅、荏原第六中学校、
小山シルバーセンター、荏原区民センター、
小山小学校、三谷八幡神社　など

武蔵小山駅

※ 小型バスの通行が可能なルート

- 既存バス停
- 歩道あり
- 歩道なし・白線あり
- 歩道なし・白線なし
- 0.00(0.00)　車道幅員（道路幅員）、単位 m

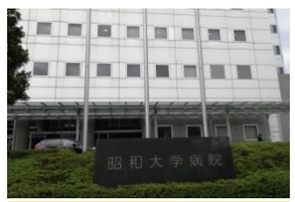
※「車道幅員」とは、歩道がある場合は歩道縁石端から、歩道がない場合で路側帯または路肩の白線がある場合は白線の内側（車道側）から計測した車道部の幅員。歩道がなく白線もない場合は道路端から0.5mを減じた位置から計測する。

車両制限令による運行ルートに必要な車道幅員

		小型バス	中型バス	大型バス
車両全幅		2.08m	2.30m	2.49m
車道幅員	道路管理者が自動車の交通量がきわめて少ないと認めて指定した道路	2.58m 以上	2.80m 以上	2.99m 以上
	一方通行の道路	2.58m 以上	2.80m 以上	2.99m 以上
	上記以外	4.66m 以上	5.10m 以上	5.48m 以上

八幡通り（三谷八幡神社）

西小山駅



昭和大学病院

立会道路

武蔵小山商店街パルム

補助26号線

スクエア荏原

荏原郵便局

中原街道（荏原警察署）

旗の台駅

２－３　設定した候補ルートの評価

（１）　評価運行条件

■ 運行日・運行時間帯
□ 毎日・ ７時～２１時

■ 運行間隔
□ ２０分

■ バス停間隔
□ ３００ｍ

■ 運行車両
□ 小型バス
（例：日野自動車ポンチョ（ロング2ドア））

＜小型バスの例＞

日野自動車ポンチョ（ロング２ドア）

■ 乗車定員：３６人
内訳：座席11人、立席24人、乗務員1人
■ 車両寸法：
幅2,080mm
×長さ6,990mm
×高さ3,100mm

（２）　初期経費（車両購入費＋バス停整備費）

	路線延長（ｋｍ）a	車両購入費の算出				バス停整備の算出			合計
		所要時間※1（分）b＝a/9×60	必要台数※2（台）c＝b/20+1	車両単価（千円）d	車両購入費（千円）e＝c×d	バス停数※3（箇所）f＝a/0.3	整備費単価（千円）g	バス停整備費（千円）h＝f×g	初期経費（千円）e＋h
① 大崎ルート	7.7	52	4	22,000	88,000	26	150	3,900	91,900
② 大井ルート	5.5	37	3	22,000	66,000	19	150	2,850	68,850
③ 荏原ルート	4.3	29	3	22,000	66,000	15	150	2,250	68,250

※1　数式中の「９」:バスの走行速度　9 km/h　※2　数式中の「20」:運行間隔 20 分、数式中の「１」:予備車両１台　※3　数式中の「0.3」:バス停間隔 0.3 km

（３）　運行収支（運賃収入－運行経費）

①運賃収入	沿線人口※4（人）a	運賃（円）b	１日あたりの利用率※5（%）c	１日あたりの乗車人数（人）d＝a×c×2	年間運賃収入（千円）e＝b×d×365
大崎ルート	23,638	100	1.8	850	31,020
		150	1.7	800	43,800
		220	1.5	700	56,210
大井ルート	14,008	100	1.8	500	18,250
		150	1.7	470	25,730
		220	1.5	420	33,720
荏原ルート	20,140	100	1.6	640	23,360
		150	1.5	600	32,850
		220	1.3	520	41,750

※4　沿線人口：　候補ルートを運行した場合に利用が想定される対象者数。平成27年国勢調査の250mメッシュ人口のデータを用いて、候補ルート沿線の人口を算定。既存バス路線と重複する区間については、既存バス利用沿線人口を除くため、平日１時間あたりの運行本数に応じて減じている。
※5　一日あたりの利用率：　事例から運賃や往復型・循環型の違いを反映させて算出。
算出方法は、往路と復路の2回利用を想定し、乗車人数を2で割った値。

②運行経費	路線延長（ｋｍ）a	１日あたりの便数（便）b	１kmあたりの運行経費※6（円）c	１日あたりの運行経費（千円）d＝a×b×c	年間運行経費（千円）e＝d×365
① 大崎ルート	7.7	42	701	230	83,950
② 大井ルート	5.5	42	701	170	62,050
③ 荏原ルート	4.3	42	701	130	47,450

※6　東京都区部が含まれる京浜ブロック平均値（国土交通省HP「平成30年度乗合バス事業の収支状況について」より）

③運行収支（①－②）	年間運行収支（上段:金額 [千円]／下段: 収支率※7）		
	運賃100円の場合	運賃150円の場合	運賃220円の場合
大崎ルート	▲52,930 （37.0%）	▲40,150 （52.2%）	▲27,740 （67.0%）
大井ルート	▲43,800 （29.4%）	▲36,320 （41.5%）	▲28,330 （54.3%）
荏原ルート	▲24,090 （49.2%）	▲14,600 （69.2%）	▲5,700 （88.0%）

※7　ここでは、（「①運賃収入」／「②運行経費」）として算出